

令和元年度第4回 鹿島区地域協議会 会議録

<地域協議会の日時・場所>

1日 時：令和元年5月30日（木）

午後1時30分～午後2時30分

2場所：鹿島区役所 2階大会議室

【 会 議 録 】

1 開 会

○事務局

地域協議会成立要件の確認

委員数15名

【出席委員数】 12名

遠藤賢明、加藤栄伸、松野豊喜、佐藤知子、西内千恵子、江袋大輔、
小倉聡美、森和浩、星ちづ子、濱名美代子、太田睦美、西みよ子

【欠席委員】 3名

大内彰、櫻井義晴

〔 多田和夫委員は所属団体の役員を退任されたことから地域協議会
委員も退任となり、代替りの後任委員の推薦を所属団体へ依頼中 〕

上記のとおり、委員の過半数の出席のため成立していることを確認します。

2 会長あいさつ

遠藤賢明会長よりあいさつ

3 区役所長あいさつ

4 会議録署名人の指名

遠藤会長が会議録署名人に松野豊喜委員と江袋大輔委員を指名。

5 議事

(1) 報告事項

①南相馬市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について

○遠藤会長

では、議事に入ります。それでは(1)報告事項に入ります。①南相馬市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について、担当より説明をお願いいたします。

○小高病院事務局長

(資料に基づき説明)

○遠藤会長

ただいま担当より説明がございましたが、ご質問等ございましたら、挙手の上ご発言をお願いいたします。

○太田委員

文言でちょっとわからない部分があったので教えてください。資料1-1の7番に「国が所掌する公物解体の対象」という文言がありますが、この部分について教えてください。

○小高病院事務局長

こちらの文言につきましては、東電の20キロ圏内、小高までの解体につきましては環境省、国が行う形になってございますので、その観点で小高病院は20キロ圏内でございますので、当然環境省、国で行う解体の建物ということで、今回行うという内容になってございます。紛らわしい表現で申しわけございません。

○遠藤会長

ほかにご意見ございませんか。

はい、西内委員。

○西内委員

この内科と外科の先生は専任でいらっしゃるわけですか。専任というか内科は内科、外科は外科、新しい先生がいらっしゃるとか、それとも総合病院からの派遣でいらっしゃるとか、どういう形をとるのでしょうか。

○小高病院事務局長

ただいまの診療体制の関係かと思えます。今現在、小高病院におきましては、常勤医師が1名おりまして、非常勤の医師が3名で4名体制でやっております。土日を休診ということで、月曜日から金曜日にかけて、内科あるいは外科の先生がおいでになった中で診療をしております、それを今回移転する先におきましても継続するような内容になってございます。常にそ

の外科の先生ということではなく、今の常勤の先生は内科の先生でございますので、内科の先生を中心としながら、派遣いただく先生が外科のときは外科の診療を行うという形になりまして、あと内科の先生といたしましても、外科的な治療を多少の傷であれば内科の先生でもできます。骨折とかそういう対応はできませんが、多少の傷程度の対応などは内科の先生でもやっていただくようになってございます。あと、その先の診療所体制については、今後、総合病院の附属診療所ということもございまして、総合病院との連携なども図っていき、体制を構築できればと考えているところでございます。以上でございます。

○遠藤会長

他にございますか。はい。加藤委員。

○加藤委員

資料1-4について、小高区地域協議会が今日の午前中にあったようですが、小高の状況はどのような感じであったのか教えていただければ幸いです。

○小高病院事務局長

小高区地域協議会におきまして説明した内容及び状況でございますが、諮問した結果につきまして、基本的にこの条例改正については原案のとおりとして妥当という答申をいただいたところでございますので、今後の、先ほど、お話をいただいたとおり、小高区内のクリニックの先生が急遽亡くなったというところで、今後の病院としてのあり方、そういった地域医療等の部分についてのご意見といたしますかお話をいただいたところで、今後そういったことを全庁的な受けとめ方の中で整備していきたいというような形で、あくまでも条例改正に関しては諮問どおり答申しますというご意見だったと捉えております。以上でございます。

○遠藤会長

他にございますか。

ありませんか。

<特に意見が無い模様>

○遠藤会長

それでは発言が無いようですので、本案件に関しましてご異議がないものと決定してよろしいでしょうか。

<委員より異議なしの声あり>

○遠藤会長

では異議がないものと認めます。

(2) その他

①次回開催日程について

○遠藤会長

それでは次に進みます。(2) その他、①次回開催日程につきまして担当に説明を求めます。

○鹿島区地域振興課自治振興担当係長

次回開催の日程でございますが、7月12日、金曜日、午後1時30分から鹿島区役所の大会議室で行いたいと考えております。続きまして、今後の予定でございますが、8月の地域協議会に関しては、生涯学習課のほうで策定中の計画が一つあり、その計画のパブリックコメントを行うことを地域協議会に報告したいという連絡がありました。これについては、ほかの庁内会議等々のスケジュールとの関係で、今のところ、8月30日金曜日、午後1時30分からの開催を考えております。これについてはまだ予定ですので、7月の協議会のときに正式に皆様にご相談したいと考えてございます。さらにその先でございます。10月、11月に開催を予定しておりますが、11月も生涯学習課の計画と教育委員会からもう一つ計画がございます。また鹿島区市民総合サービス課でもパブリックコメント等を諮っていく予定ということで、11月下旬の最後の週のあたりに開催を予定しております。今年度については、さまざまな事案や計画に関するパブリックコメント及び計画策定、それから条例制定等が、目白押しになっておりますので、早目早目にこちらのほうでも予定を決めていきたいと考えてございます。まず本日につきましては、7月の日程について確認、ご協議いただければと思いますので、よろしく申し上げます。以上です。

○遠藤会長

ただいま担当より説明をちょうだいしました。ご異議ございませんか。

＜委員より異議なしの声あり＞

○遠藤会長

それではご異議ないものと認めます。

それでは、事務局より、市民提案型一体感醸成事業補助金交付の説明をよろしくお願ひしたいと思ひます。

○地域振興課長

市民提案型一体感醸成事業ですが、これにつきましては、1事業最大200万円で最大2年間まで、市民の提案により一体感醸成に結びつくような事業を進めていただきたいということで募集をしましたところ、この5事業の応募があり、5月27日の認定委員会にて皆さんにご議論いただいたところ、5

事業とも認定する方向で進めているということでございます。

一つ一つの事業について説明させていただきますが、まず1番目が「万葉植物園に親しむ会」の「万葉公園利活用促進事業」でございます。これにつきましては旧鹿島町時代から、桜平山は、桜が多い場所ということで、昔は春まつりと言いますか、ぼんぼりなど飾りまして、非常ににぎやかであったのですが、現在は桜が大分弱ってきているというような状況であります。また、中には万葉植物園がございまして、開設した当時には万葉集に収められた歌にちなんだ植物を植え、その植物を見ながら散策できるような場所であったのですが、その手入れがなかなか行き届いていないという状況です。現在ではその植物はどこにあるのかわからないというような部分もあり、また、詠まれた歌自体も、プレートのようなものがあつたのですが、それも余り見当たらないという状況になっております。また四阿も朽ちてしましまして大分傾いてしまっているという状況でして、市としましては公園の一部としまして管理している関係で、木の枝の伸びすぎた部分を切ったり下草を刈ったりはしておりますが、その歌のプレート等まで手がまわらず、草刈りにつきましても年に3回程度しか行えないという状況の中で、非常に荒れ果てた状況だったことで市民の方が憂いまして、今回この事業で少し手当てができないかという話になりました。市としましても四阿や周りの柵につきましても、ある程度の修繕をすべく今回補正予算を組んだところでございますが、中の万葉集にちなんだ植物、植栽等についてはなかなか手が回らない。また、桜自体もだいぶ歳をとってしまつて、植え替えをしなければいけないような状況であります。そこまで市の方ではなかなか手がまわらないというところもございまして、この辺りの役割分担をしながら進めてはどうかということで、今回この事業で約100万円の事業費で進めていきたいということでございます。これから、市の公園管理者等と役割分担等を明確にしながら進めていくということでございます。

次に「かしまの一本松を守る会」の復興のシンボル「かしまの一本松の後継木」植栽事業でございますが、前に倒し一本松が種をいくつか残しておりまして、その種から後継木を育てているという状況です。最初は15本ほどあつたのですが、なかなかうまくいかず、今7本が残っているという状況で、その7本をもともとあつた場所の近くに植えたいと、ただ7本だけでは寂しいので、その周りを県で防災林を今造成しているところではありますが、そこから1区画、さらには近くの高盛り土の部分にも植えていいですよという許可をいただいたので、200人ほどの人が集まってにぎやかに植樹祭をすることを考えているという状況でございます。植えた後は、その木がしっかり育つまで5年間程度は責任持って管理しなければいけないという部分もある

ので、この近くにちょうど市で所有している土地があるものですから、その土地を駐車場的な利活用をしたい。この事業の中で、四阿を設置して、またベンチ等を置いて、そこに一本松の物語をわかるような案内看板を設置して管理していくという提案でございます。これにつきましては約200万円を今回計上したものですから、補助事業としましては、単年度で終わりますが、それ以降の管理につきましては、ご自分たちで草刈りなり、何らかのイベントをやっていただくということで進めさせていただければなというところでございます。

3番目「真野川桜づつみの会」の真野川桜づつみ再整備環境美化事業でございます。これにつきましては、鹿島中学校のグラウンドのところから江垂のポケットパークのあたりまでの間、桜が植えてございます。これにつきましては旧鹿島町時代に行なった住環境整備事業等に合わせまして、真野川の堤防を少し広くしまして、その部分に桜の木を植えました。さらに、そこにベンチや四阿を設置しましたが、これにつきましても市のほうで年に2回程度、草刈りをしているという状況であります。桜も大分大きくなりまして、最近では非常に見事な花を咲かせるような状況になってきましたが、なかなか手が回らなくて、雑草等若干手入れが行き届いてないと感じられる部分がございます。市民の方は散歩等で非常に歩いている感じもありますし、また今回のサイクリングロード等も考えていきたいという部分があるので、サイクリングロードとは反対側になりますが、真野川の環境をよくして市民が集えるような場所にしたいという想いがこの方たちにあったものですから、この方たちと協力しながら、市で設置しましたベンチ、四阿の管理につきましても、お互いの役割分担を考えながらやっていければと思っているところでございます。また最近、散歩する方、結構、犬を連れている方もいらっしゃるようですので、そのベンチの側に簡単なドッグラン的なもの、柵を作って、ベンチで休憩する間、犬にもそこで遊んでいただくという発想でございます。また、寺内の落合あたりですと非常に風が強く、桜の木があっても風が強くてベンチに座りづらいという話もございまして、そのベンチの周りには少し風よけ的な柵を設けてはどうかという考えもあるとのことでございます。そういう環境整備ができましたら、ぜひそこで秋に、月でも愛でながら、簡単な音楽でも聴くようなイベント等も考えていきたいという考えがあるということでございます。

4番目「なつ・かし・まつり事業」でございますが、これにつきましては、昔は各行政区ごとに盆踊りとかさまざまなイベントがあったのですが、最近ではなかなか難しく行われてないという状況で、非常に寂しいなというところがございます。昔は各地区に、いろんな発想をもってイベント考える方が

いらっしゃって、そういう方を中心に夏祭りとか行われていましたが、現在はそれが少ないということで、ぜひそういうものを復活させていきたい。そのためにはただ単にこの事業で1年、2年、お祭りをやるという発想ではなくて、そういうことをやっていく人材育成をしていきたい。人材育成と合わせながらちょっとしたお祭り等もやっていきたいというような発想の事業でございます。今年度は、鹿島交流センターの前の広場あたりで夏に行ないたい、また、それを行いながらどういうふうになれば継続できるのかということも考えていきたいというものでございます。

5番目、「鹿島（南相馬）を盛り上げ隊」。事業名としましては鹿島九曜紋スタンプラリー事業でございます。これにつきましては、外から鹿島を訪れる方に話を伺うと、鹿島ってこんなすばらしいものあるんじゃないのということで、外からの目から見るといいものがあるという話を聞くことができますが、鹿島に住んでいる人で、鹿島にはこういうものがありますよと自信を持って言える方はなかなか少ないという現実がございます。ぜひ、よそから来た人に鹿島を知っていただきたい、そういうきっかけづくりとしまして、神社仏閣等にスタンプを置いて、人々がここ鹿島をめぐるって歩く、そういうような事業やりたいとのことです。そういう事業をやるためには、鹿島の各施設を紹介するような資料をつくって、それを広めるということになりますので、それによって鹿島の人たちも改めて地元を見直す機会につながっていくのではないかとということで、そういう取り組みをやってみたいというご提案がございました。ただまだ十分内容の方が詰まっていない部分がありますので、どういうふうに進めていくかはある程度走りながら考えるような部分もございますが、この辺を市のほうではフォローしながら、お互いによくなるようなものを考えていければと思います。

5事業につきましてざっと説明しますとこのような中身ですが、先ほど申し上げましたとおり、本年度、1事業当たり200万円の5事業、1,000万円の予算をとっておりますが、今回上がってきたものと約500万円強という状況でございますので、それだけですと寂しいかなということもございまして、今後、さらに2次募集をかけまして、その中で、今年度でもっと事業を増やしていければなというところでございまして、スケジュールがお手元にあると思いますが、二次募集を7月15日から8月20日にかけて募り、認定委員会を8月26日あたりに開催したいなと考えているところでございます。本事業につきましての説明は以上です。

○遠藤会長

ただいま、一体感醸成事業につきまして説明をちょうだいしましたが、ご質問等がありましたら挙手の上、ご発言をお願いいたします。西内委員。

○西内委員

5団体上がってきていますが、最初は予算がついていて、自分たちのグループでやりますよね。そうした場合、その後の管理や運営は、団体が各々自分たちの資金でやれということですか。例えば、総事業費で予算がついていますよね。そのお金の中で、この団体が何か、例えば万葉植物園を親しむ会の方たちが何か募集をして整備します。そうした場合そのあとの管理、それはやはり団体が責任持って、自分の資金でやれということで捉えてよろしいでしょうか。

○地域振興課長

市の施設としまして、今までも市として管理できる部分は管理をしていたところがございますが、十分な管理ができない部分があって、それを憂いて今回手をあげたということですので、今後この事業が終わったならば手を出しませんよという話になってしまうとまた元に戻ってしまう恐れがあります。そういうことにならないよう、市の補助金だけに頼るのではなく、皆さんで何らかの知恵を出し合いながら、どんな管理ができるのかということを考えていただく、さらにそこに対して、市としてももう少し別な取り組みができないかということも一緒に合わせていくというような形になっていくと思います。以上です。

○江袋委員

この「なつ・かし・まつり実行委員会」ですが、これはどういう実行委員会なのか、どういう団体がこの祭りを仕切るのかということが一つと、あと、これは当たり前ですが、今年夏祭りをやるということですか。もうすでに決まっているのですか。

○地域振興課長

本年度の補助事業ですので、本年度の実施に向けて、今回認められればそこから動き出すという形ではありますが、自分たちの構想としましては、隣の万葉園で使っているやぐらを借りられそうだという話がございますし、普通の盆踊りのようなものであれば、そんなに手がかからずにできるのかなど。また出店も、ここだったら出てくれますよというようなところを何社かお声がけはもう既にしているとのことで、今、仲間を募りながら実施に向けて動き出している、構想を練っているという状況とのことでございます。

○江袋委員

この実行委員会というのは、役所が主体ですか。

○地域振興課長

これは役所が主体ではなく、あくまでも市民の方がご自分たちで仲間を募って、今考えてらっしゃるという状況です。

○濱名委員

総事業費ですが、1番、万葉植物園とか、あとは真野川桜づつみ会、この辺りですと内容からして、遊歩道の整備等の金額が出てくるのかなという内容が結構あるような気がします、これはその団体さんから、これでできますという話ですか。

○地域振興課長

例えば、遊歩道を全く新しく作るとなれば大変費用がかかる部分でございますが、既にあるところで維持管理が十分でないところを自分たちでこの金額の中で補修といいますか、ブラッシュアップといいますか、やっていこうというような中身でありまして、その内訳につままして計画が出されているという状況です。ただ支出につまましては後で書類をいただいて、中身を役所で全部チェックさせてもらうという形になります。過不足なくやっていただければと思っておりますが、補助金で足りない部分は自分たちで何らかの手当も付けていただければ、逆に後々につながっていくのかなというふうに思うところでございます。以上です。

○西委員

二次募集に応募するとしたら7月15日から8月20日で、それから3月までにやるしかないですね。

○地域振興課長

先ほど申し上げましたとおり、本事業は、全体としましては2年間ありますので、何としてでも3月まで全部終わらせるということではなくて、今年度できる部分に関しては3月までにやっていただいて、それに続くものがあるのであれば、来年度追加といいますか、ご提案いただくというような形になります。

○西委員

この総事業費は2年間ですね。

○地域振興課長

年間の総事業費1,000万円が2年間ということになります。

○遠藤会長

他に質問等ございませんか。

<特に意見が無い模様>

○遠藤会長

では質問がないようですので次に進んでよろしいでしょうか。

<委員より異議なしの声あり>

○遠藤会長

では、もう1点、鹿島区の敬老会の実施概要につままして説明をお願いし

ます。

○鹿島区市民総合サービス課長

皆様にお配りした、鹿島区敬老会の実施概要という資料。敬老会につきましては、震災で8年間休止しておりましたが、今回8年ぶりに市が主催で、敬老会を開催したいと考えております。市の事業としての敬老会ですが、8年も敬老会をやっていなかったということもありますし、なるべく地域の声といいますか、皆さまの意見を取り入れて、敬老会を実施したいと考えておりまして、市が主催で行うのですが、実行委員会というものを組織して、中身等について検討をしていきたいと考えております。資料をめぐっていただくと、裏面が敬老会の実行委員会の名簿でございます。各地区の区長さん、各地区のまちづくり委員会、各地区の民生委員さん、老人クラブの方々などで組織いたしまして、事務局も入れて21名で、今後この敬老会について決めていこうということで、5月24日の金曜日に第1回の実行委員会を開催いたしました。そこである程度決まったところについて、現時点で決まっていること、それから今後どのように進むのかということについて説明をいたします。

まず開催日ですが、令和元年9月29日の日曜日でございます。会場はさくらホールでございます。この敬老会の対象となる人数ですが、75歳以上という決め方をしておりましたが、具体的にいつの時点で75歳を対象とするのかという話になると思ひまして、厳密にいうと今年度中に、満75歳となる人、及びそれ以上の年齢の方ということで、平成31年4月2日現在で74歳以上の方1,960の方が鹿島区では対象となります。具体的な式典の中身については、今後実行委員会の中で決めていきますが、まず対象人数が2,000人近くで、このうちの半分ぐらいが参加するとしましても、さくらホールの会場の関係で、式典は午前の部と午後の部に分けなくてはいけないだろうということで、午前の部の時間は10時から11時半で、対象とするのは八沢地区と上真野地区の方々を対象とするというふうに決定いたしました。それから午後の部につきましては、13時半から15時までで、鹿島地区と真野地区の方々を対象とするということで、敬老会を実施しようということに決定いたしました。送迎に関しては、市のほうで予算をとってバスを借り上げる予算を取っておりますので、その送迎に希望する方はバスで行うといった形で進めていくことになっております。参考までに予算ですが、鹿島区の敬老会につきましては1,543,000円を計上しております。具体的には記念品やバスの借上料、それから演芸をしてもらう団体に対する謝礼金等、そういった諸々を全部合計して1,543,000円でございます。ちなみに原町区では2,495,000円、小高区では911,000円の予算ということで、そのぐらいの

規模の事業ということになります。続きまして今後の予定ですが、先ほど実行委員会17名ということですが、今後細かいことを決めていくのに、輸送部会やイベント企画部会、式典部会という部会を決めました。それぞれ実行委員さんはどこかの部会に所属してもらうことになりました。早速6月10日に、演芸内容等にどういった出し物をしたらいいかということを検討するイベント企画部会というものを開催する予定でございます。さらに7月11日には、敬老会第2回の実行委員会を開催いたします。8月中旬には第3回実行委員会で、それぞれの部会の進捗の報告や課題を整理したり、当日の役割を決め、さらに最後、第4回実行委員会を9月の中旬に、最終確認等を行なって本番の9月29日に臨みたいと考えているところでございます。以上、鹿島区の敬老会の現時点での実施概要についてでございます。

○遠藤会長

ただいま、鹿島区敬老会につきましてのご説明をちょうだいしましたが、ご質問等ございましたならば挙手の上、ご発言をお願いします。

ありませんか。

<特に意見が無い模様>

○遠藤会長

ではご質問がないということでよろしいでしょうか。

<委員より異議なしの声あり>

○遠藤会長

それでは、以上ご報告並びにその他の案件につきましては、全て終了させていただきます。その他事務局、委員の皆様から何かございますか。

○自治振興担当係長

前回の地域協議会の際に、皆様に研修旅行のアンケートをお願いしたところでございます。今日まで提出ということでしたが、まだ提出していない方がいらっしゃるならば、次回以降、研修の協議や相談もさせていただきますので、引き続き、お受けしますので、提出をよろしくお願ひしたいと思ひます。以上です。

○遠藤会長

他にございますか。

<特に意見が無い模様>

○遠藤会長

では無いようですので、本日の議題は全て終了いたしました。大変ご苦勞さまでございました。

○地域振興課長

それではこれで第4回鹿島区地域協議会を終了いたします。大変お疲れ様

でした。

以上のとおり相違ありません。

会

長

遠藤賢明

会議録署名人

松野豊喜

会議録署名人

江袋大輔